

一般会計総額

48億1,125万円
の使い途

3月の御代田町定例議会で、平成19年度の当初予算が
可決されました。この予算は町長選挙の時期などの事情から、
継続事業、経常的な予算計上を主とする骨格予算となっています。

一般会計

一般会計の予算額は、歳入歳出それぞれ48億1,125万円です。昨年比で2.7%増となりました。補正予算対応で新規事業、投資的な予算計上が見込まれることから、その財源として準備費を多く計上しています。

【歳入】

歳入は昨年比で町税が1億7,339万円の増(プラス8.8%)、地方譲与税が税源移譲実施による所得譲与税の減により1億2,255万円の減(マイナス59.4%)、地方交付税が新型交付税の導入を見込み1億4,072万円の減(マイナス11.3%)、国庫支出金750万円の増(プラス5.2%)、県支出金1,802万円の増(プラス9.0%)、基金繰入金1億181万円の増(プラス87.8%)、町債が2,040万円の減(マイナス10.2%)となっています。公債費や扶助費の増加により厳しい財政運営を余儀なくされていますが、基金からの繰り入れなど歳入を最大限見込んだ予算となっています。

【歳出】

総務費は、庁舎改修工事、評価替えに伴う土地鑑定委託、戸籍電子化経費、参議院選挙、県議会議員選挙経費などを計上し、全体で前年比3、107万円の減です。民生費では、国民健康保険、介護保険の各特別会計への繰入金、医療費などの扶助費、児童手当乳幼児加算分などにより3,490万円の増となっています。衛生費では、井戸沢ストックヤード補修工事、久保沢処分場整備事業の終了などにより全体で2,196万円の減です。土木費は、町道維持補修工事、道路新設改良の減、下水道事業特別会計への繰出金の減などにより、1億6,031万円の大幅な減となっています。消防費は、消防団員退職報酬金などにより3,728万円の増となっています。教育費につきましては、中学校改築事業経費の計上により6,043万円の増となっています。

用語をチエック

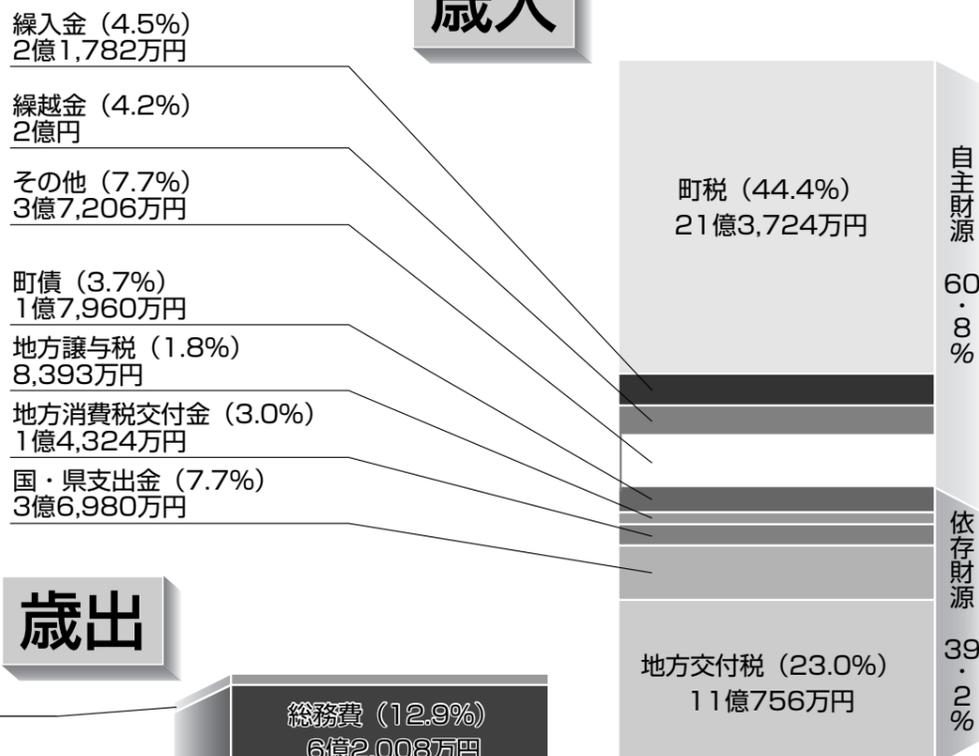
歳入編

■町税：皆さんが町へ納めた税金です。
■地方譲与税：国税である自動車重量税などが、一定の割合で町に交付されたお金です。
■地方消費税交付金：消費税が、人口や従業者数に応じて交付されたお金です。
■地方交付税：町の財政力に応じ、国から交付されるお金です。
■国・県支出金：特定の事業の経費にあてるよう、国・県から交付されるお金です。
■分担金および負担金：特定の事業の経費にあてるため、その事業により特別な利益を受ける人や原因者が納めるお金です。
■繰入金：一般会計、特別会計、基金間でやりとりされるお金です。
■町債：大きな事業をするときに、町が借りるお金です。いわゆる借金です。
■その他：使用料、手数料、財産収入、寄付金、諸収入の合計です。

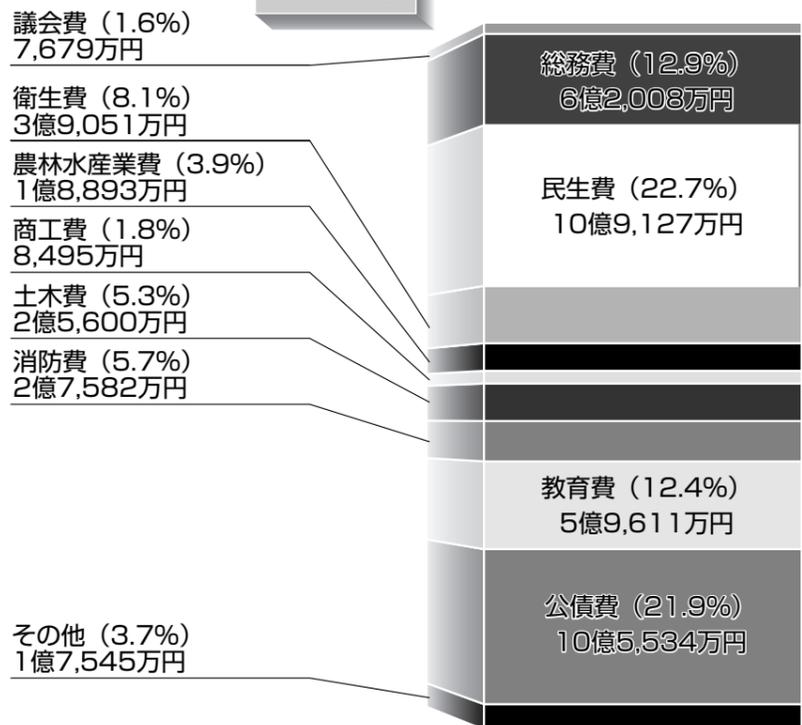
歳出編

■議会費：議会の運営に使うお金です。
■総務費：一般事務経費や財産管理などに使う費用です。選挙や広報に使うのもこのお金です。
■民生費：福祉の増進に使う費用です。老人・障害者・児童福祉など欠かさないお金です。
■衛生費：ゴミ処理や健康診断、予防接種に使うお金です。
■農林水産業費：農業・林業の振興に使うお金です。
■商工費：商業・工業の振興に使うお金です。
■土木費：道路や公園をつくるお金です。町営住宅の管理なども含まれます。
■消防費：消防・防災にかかるお金です。
■教育費：学校教育、生涯学習に使うお金です。
■公債費：町の借金を返すお金です。
■その他：労働費、災害復旧費、諸支出金の合計です。

歳入



歳出



ワンポイント

町の予算は、入ってくるお金と使うお金は同額で組まれています。歳入のうち、依存財源は、国や県に頼っているお金。自主財源は御代田町だけで用意できるお金。約40%を国や県に頼っています。他市町村と比べた場合、御代田町の依存割合は少ない方になります。